

第11回若年者ものづくり競技大会

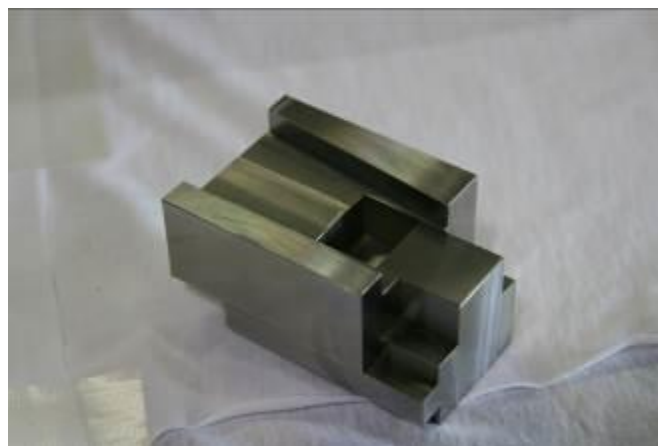
宮城県工業高等学校

2位入賞 フライス盤職種

機械科3年 諏訪丈二（七ヶ浜町立向洋中卒）

第11回若年者ものづくり競技大会が、栃木県立中央産業技術専門校や宇都宮体育館を会場に8月5日から8日まで開催されました。

本校から、宮城県職業能力開発協会から推薦を受けた上記生徒がフライス盤職種で2位入賞を果たしました。応援ありがとうございました。



継続指導を大切にしています！
機械技術部

CAD職種出場 松本大雅選手



フライス盤職種 諏訪丈二選手コメント

私は今回、栃木県立県央産業技術専門校で行われた第11回若年者ものづくり競技大会にフライス盤職種で出場してきました。大会に出場したのは全国から選出された20歳以下の計31名の若年技術者です。31名の選手がA,B,Cの3つのグループに分かれ、私はその中のAグループで競技を行いました。Aグループは主に東北や関東の人たちで構成されていました。競技大会は2日間にわたって行われ、1日目は機械の精度などをみる試し削り、2日目は実際に課題を削ります。制限時間3時間で寸法をしっかりと入れた上で課題を完成させます。私は1

日目の試し削りを終え 2 日目の本番当日、練習と同じくいつも通り加工を行っている自分と自分が今まで経験したことのないミスをしてしまいました。課題はなんとか組み上げることができましたが、ミスをしてしまったところは痕が残ってしまい納得のいかない作品をつくってしまいました。私は、このミスを含めて自分の実力だと思いました。私はこの大会には特別な想いがあり、絶対に 100 点を取って優勝すると思ひ臨みました。しかし本番ではミスをしてしまい入賞はできないと思っていました。しかし私は結果的に銀賞という賞をもらうことができました。私がこの賞をもらうことができたのは自分の実力だけではありません。練習に夜遅くまで付き合ってくださった顧問の先生をはじめ、工場を貸していただいた機械科の先生方、チーム県工と一緒に部活動をしてきた仲間たち、応援してくださった皆様のおかげです。本当にありがとうございました。私はこれからも、この経験を活かしものづくりを楽しみ、自分の技術を向上させていきたいと思ひます。

機械製図CAD職種 松本大雅選手コメント

私は第 11 回若年者ものづくり競技大会の CAD 職種に出場させてもらいました。結果としては参加賞とあまりいいものではなかったのですが、自分にとっては今回の大会というのはあくまで通過点でありいいわけになってしまいますが結果はあまり気にせず大会の雰囲気、どのように進行するのかというのを重点的に意識し挑みました。実際、当日に課題が発表されそれをどう本調子にもっていくかというのが今回の大会を経て学びました。もっともっと大会中に学んだ事はあるのですが、自分にとってはそれが一番大切だと感じました。それと自分は抜き出した部品に寸法を入れるという作業が不得意で今回の大会でもそれが減点項目に響いたんじゃないかなと思ひました。長くなりましたが、今回の大会を経て悪いことも良いこともたくさん学んだのでこれを活かして技能五輪ではくいの残らない結果にしたいです。

継続は力なり！ 機械技術部